



＜まちづくり団体・住民の皆さまの取組み2＞

「青年たちがつくりたいまち」

～大好きばんどう！市民会議のあゆみ～



私たちのまちにもJC（青年会議所）と言われる青年団体がある。

その団体が呼んだ喜多方ラーメンでまち興しを仕掛けた山口氏の講演会に商工会青年部の人たちも聞きに来ていた。

山口氏の言葉に自分達でも町興しが出来るのではと、後日JCのメンバーと商工会青年部のメンバーで山口氏を訪ねていった。山口氏は快く私達の気持ちに伝えてくれて、いろいろとアドバイスを頂き、この気持ちを実行に移すべく、2004年5月11日に会を発足しました。

さて、自分達がどのようにまちをよくしていこうかという構想を練り、自分達のまちを知ることからはじめ、趣意書にまとめあげその理念をもとに事業計画を立てました。

—この素晴らしい可能性を持った岩井市

（2005年3月には岩井市・猿島町の合併により坂東市になり、名称も「大好きばんどう！市民会議」となりました。）

岩井市は、茨城県の県西部に位置する人口約42,000人の都市で、東に筑波山を望み、西に太古の昔より坂東太郎と慕われてきた利根川、コハクチョウの飛来する菅生沼など、水と緑の素晴らしい自然があり、また、産業の中心は農業であり、市街地の周辺に広がる豊かな土地には、ねぎ、レタス、そして米を中心とする首都圏への出荷する供給地となっている。

農業の中心の土地柄からか、市街地には近年電線地下埋設設備された他に類を見ない近代的商店街が、商業地区の中心を担っている。

歴史的にみても平将門の中心的な歴史舞台の地であり、国王神社、八坂神社をはじめとする神社仏閣が数多く点在しており、歴史の佇まいを強く感じられる。

首都圏から交通の便もよくなり、東京駅への直通高速バス、国道354号線の整備、首都圏中央連絡自動車（圏央道）の計画により、今後のより利便性の高い都市になることが考えられる。

—憂い、心配

以上の説明のように、ここ岩井市は自然に囲まれ、首都圏への結びつきが非常に密接で、歴史文化においては素晴らしい特色を持ち、多くの可能性を秘めた地域に住んでいることを改めて認識できるでしょう。

しかし、現状は上記と異なり、商店街は大型店に圧され活力がなくなり、喘いでいる。中心的な産業である農業も、近年の異常気象と安い輸入野菜により単価の下落を余儀なくされている。大きな雇用確保の源であった工業団地も折からの不況の波に例外なくさらされ、誘致状況もままならない。

また、岩井市が誇れる自然も、社会モラルの低下により、汚され、破壊されてきている。少子化による競争力の欠如は学力低下に直結し、学校内や家庭内の様子も様変わりしている。

そしてこの地域の歴史までも希薄になってきている現状を憂い、心配しているのは私達だけではないはずです。

—愛して止まないこの岩井市の復興は青年の使命である

この地域に由来を持って生を受け、学び、生業を持って営む。家庭を持って住居を構え、子供を育み、成長を楽しむ。

人間としての自然の営みをこの愛する岩井市でできることは、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

今後もこの地域に住み、具体的に活動し、発展復興させていくことが、私たちの使命であることを信じています。

—基本理念

大好きいわい！市民会議は、青年が自発的、能動的に活動し、市民として、広く市民に訴えながら、市民主導の暮らしやすい豊かな地域社会づくりと、市域経済活性化を目指し活動します。また、文化・歴史・産業・自然の有形無形のまちの魅力(アイデンティティ)を再認識、発展させることにより、地域の価値と知名度を高めることを目的として設立します。



※祝い鍋味くらべ大会で投票する市民



～あゆみ～

- 2004年 5月 会議発足
6月 「ねぎじゃどしたい？んじゃよかっぺ」祭
・西川のりお氏に「いわいねぎ大使」として委嘱
・ねぎの早むき早切り早食い選手権大会
・ねぎ料理自慢大会
- 2005年 7月 「市民塾」主宰
・イベントを終えたところから、イベントが自分達のやりたいことかという疑問に、自らまちづくりについて学び会おうということから「市民塾」を主宰。毎月一回思い思いの講師を呼び、勉強会をしている。
- 11月 「将門まつり」協力
・西川のりお氏に「坂東やさい大使」として再委嘱
・お笑いスター誕生
- 2007年 2月 「湯どうふ味くらべ大会」 & 「祝い鍋味くらべ大会」
・坂東祝い鍋の試作から始まり、農業戦略会議まで発展し、飲食組合などの協力により、ベースの「祝い鍋」が完成。(坂東の野菜を使うことが第一の条件) そこから各飲食店で工夫を加え、オリジナル鍋を開発し、その味くらべをした。
・湯どうふ味くらべ大会は、「湯どうふの薬味=ねぎ」ということから薬味をふんだんに食してもらおうと京都の湯どうふ全国大会にエントリーし、茨城ブロック大会を開催。
- 2008年 2月 「ばんどう祝い鍋まつり2008」
として称して、昨年同様に湯どうふ大会と祝い鍋大会を開催。



※祝い鍋味くらべ大会で試食する市民



※湯どうふ味くらべといいながら実際は大食い大会

4年目に入った「大好きばんどう！市民会議」。徐々に市民権も得られ、農業戦略会議など、社会的システムにも参加するようになり、協力者や賛同者が増えてきた。

小さな柄杓でも何回も何回も汲めば、その器をいっぱいにすることが出来るように、私達も自分達のまちを愛し続け、活動していくことで、より良いまちになると信じ、日々メンバーで話し合っている。

【問合せ先】

大好きばんどう！市民会議

会長 中山 達也

TEL 0297-35-0148